

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B1)

(11) 特許番号

特許第6861314号
(P6861314)

(45) 発行日 令和3年4月21日(2021.4.21)

(24) 登録日 令和3年3月31日(2021.3.31)

(51) Int. Cl. F 1
A 6 1 H 19/00 (2006.01) A 6 1 H 19/00

請求項の数 5 (全 17 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2020-110997 (P2020-110997)</p> <p>(22) 出願日 令和2年6月27日(2020.6.27)</p> <p>審査請求日 令和2年6月29日(2020.6.29)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 320003655 ▲浜▼嶋 智樹 愛知県常滑市苅屋町3-48 コスモリヴェール201号</p> <p>(74) 代理人 100161975 弁理士 米田 恵太</p> <p>(72) 発明者 ▲浜▼嶋 智樹 愛知県常滑市苅屋町3-48 コスモリヴェール201号</p> <p>審査官 段 吉享</p>
--	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 マッサージ器具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

生物の雄の生殖器をマッサージするマッサージ器具であって、
前記雄の前記生殖器である亀頭及び陰茎を挿入する開口部を有するマッサージ本体部と

前記マッサージ本体部を操作する第1ハンドル部と、
前記マッサージ本体部を操作する、前記第1ハンドル部と異なる第2ハンドル部と、
前記第1ハンドル部に接続して前記第1ハンドル部の動きに連動する第1弾性部材と、
前記第2ハンドル部に接続して前記第2ハンドル部の動きに連動する第2弾性部材と、
前記第1弾性部材と前記マッサージ本体部を接続する第1接続部と、
前記第2弾性部材と前記マッサージ本体部を接続する第2接続部と、
を備え、

前記第1ハンドル部が操作されると、前記第1ハンドル部の操作が前記第1弾性部材を通じて間接的に前記マッサージ本体部を動かし、

前記第2ハンドル部が操作されると、前記第2ハンドル部の操作が前記第2弾性部材を通じて間接的に前記マッサージ本体部を動かし、

前記第1ハンドル部は、第1一端と第1他端を有し、前記開口部の奥行方向に沿うように前記第1一端から前記第1他端に向けて延び、

前記第2ハンドル部は、第2一端と第2他端を有し、前記開口部の奥行方向に沿うように前記第2一端から前記第2他端に向けて延びるマッサージ器具。

【請求項 2】

前記開口部の周辺部から前記開口部の手前側に向けて突き出る複数の突起部と、
を備え、

前記開口部の奥に前記雄の前記生殖器が挿入されると、前記雄の前記生殖器の周辺に前記突起部の少なくとも一部が接触する、請求項 1 に記載のマッサージ器具。

【請求項 3】

生物の雄の生殖器である亀頭及び陰茎を挿入する開口部を有するマッサージ本体部を用いてマッサージするマッサージ器具であって、

前記マッサージ本体部を保持する保持部と、

前記保持部により保持された前記マッサージ本体部を操作する第 1 ハンドル部と、

前記保持部により保持された前記マッサージ本体部を操作する、前記第 1 ハンドル部と異なる第 2 ハンドル部と、

前記第 1 ハンドル部に接続して前記第 1 ハンドル部の動きに連動する第 1 弾性部材と、

前記第 2 ハンドル部に接続して前記第 2 ハンドル部の動きに連動する第 2 弾性部材と、

前記第 1 弾性部材と前記保持部を接続する第 1 接続部と、

前記第 2 弾性部材と前記保持部を接続する第 2 接続部と、

を備え、

前記第 1 ハンドル部が操作されると、前記第 1 ハンドル部の操作が前記第 1 弾性部材を通じて間接的に前記マッサージ本体部を動かし、

前記第 2 ハンドル部が操作されると、前記第 2 ハンドル部の操作が前記第 2 弾性部材を通じて間接的に前記マッサージ本体部を動かし、

前記第 1 ハンドル部は、第 1 一端と第 1 他端を有し、前記開口部の奥行方向に沿うように前記第 1 一端から前記第 1 他端に向けて延び、

前記第 2 ハンドル部は、第 2 一端と第 2 他端を有し、前記開口部の奥行方向に沿うように前記第 2 一端から前記第 2 他端に向けて延びるマッサージ器具。

【請求項 4】

前記保持部は、保持した前記マッサージ本体部の前記開口部の手前側に向けて突き出る、
複数の突起部を備え、

前記開口部の奥に前記雄の前記生殖器が挿入されると、前記雄の前記生殖器の周辺に前記突起部の少なくとも一部が接触する、請求項 3 に記載のマッサージ器具。

【請求項 5】

前記第 1 ハンドル部から延びる第 1 延出部と、前記第 2 ハンドル部から延びる第 2 延出部とを備え、

前記第 1 延出部は、前記マッサージ本体部の使用時に前記第 1 延出部の少なくとも一部が前記生物に触れ、

前記第 2 延出部は、前記マッサージ本体部の使用時に前記第 2 延出部の少なくとも一部が前記生物に触れる、請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のマッサージ器具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、マッサージ器具に関する。

【背景技術】

【0002】

例えば、特許文献 1 には、男性の生殖器をマッサージするマッサージ器具が開示される。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2008 - 307131 号

【発明の概要】

10

20

30

40

50

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許文献1のマッサージ器具では、使用者がマッサージ器具そのものをしっかりとして手で握ってマッサージするため、操作者が意図するようにはしかマッサージ器具を操作することができない。

【0005】

本発明の課題は、操作者が意図しない動きをすることが可能なマッサージ器具を提供することにある。

【課題を解決するための手段及び発明の効果】

【0006】

生物の雄の生殖器をマッサージするマッサージ器具であって、
雄の生殖器である亀頭及び陰茎を挿入する開口部を有するマッサージ本体部と、
マッサージ本体部を操作する第1ハンドル部と、
マッサージ本体部を操作する、第1ハンドル部と異なる第2ハンドル部と、
第1ハンドル部に接続して第1ハンドル部の動きに連動する第1弾性部材と、
第2ハンドル部に接続して第2ハンドル部の動きに連動する第2弾性部材と、
第1弾性部材とマッサージ本体部を接続する第1接続部と、
第2弾性部材とマッサージ本体部を接続する第2接続部と、
を備え、

第1ハンドル部が操作されると、第1ハンドル部の操作が第1弾性部材を通じて間接的にマッサージ本体部を動かす、

第2ハンドル部が操作されると、第2ハンドル部の操作が第2弾性部材を通じて間接的にマッサージ本体部を動かす、

第1ハンドル部は、第1一端と第1他端を有し、開口部の奥行方向に沿うように第1一端から第1他端に向けて延び、

第2ハンドル部は、第2一端と第2他端を有し、開口部の奥行方向に沿うように第2一端から第2他端に向けて延びる。

【0007】

本発明のマッサージ器具は、ハンドル部を操作する動きが弾性部材で変換され、不規則な動きをマッサージ本体部に伝えることが可能となる。そのため、ハンドル部を操作する操作者が意図しない動きをマッサージ本体部に与えることができる。それ故、例えば、操作者が刺激したい部位に操作者が意図しない刺激やマッサージ本体部の動きを生じさせることが可能となる。

【0008】

本発明の実施態様では、

開口部の周辺部から開口部の手前側に向けて突き出る、複数の突起部と、
を備え、

開口部の奥に雄の生殖器が挿入されると、雄の生殖器の周辺に突起部の少なくとも一部が接触してもよい。

【0009】

これによれば、マッサージする際に複数の突起部の少なくとも一部が生殖器の周辺に接触するため、生殖器以外の部位である生殖器の周辺をマッサージできる。

【0010】

また、本発明のマッサージ器具は、

生物の雄の生殖器である亀頭及び陰茎を挿入する開口部を有するマッサージ本体部を用いてマッサージするマッサージ器具であって、

マッサージ本体部を保持する保持部と、

保持部により保持されたマッサージ本体部を操作する第1ハンドル部と、

保持部により保持されたマッサージ本体部を操作する、第1ハンドル部と異なる第2ハンドル部と、

10

20

30

40

50

第1ハンドル部に接続して第1ハンドル部の動きに連動する第1弾性部材と、
 第2ハンドル部に接続して第2ハンドル部の動きに連動する第2弾性部材と、
 第1弾性部材と保持部を接続する第1接続部と、
 第2弾性部材と保持部を接続する第2接続部と、
 を備え、

第1ハンドル部が操作されると、第1ハンドル部の操作が第1弾性部材を通じて間接的にマッサージ本体部を動かす、

第2ハンドル部が操作されると、第2ハンドル部の操作が第2弾性部材を通じて間接的にマッサージ本体部を動かす、

第1ハンドル部は、第1一端と第1他端を有し、開口部の奥行方向に沿うように第1一端から第1他端に向けて延び、

第2ハンドル部は、第2一端と第2他端を有し、開口部の奥行方向に沿うように第2一端から第2他端に向けて延びる。

【0011】

本発明のマッサージ器具は、ハンドル部を操作する動きが弾性部材で変換され、不規則な動きをマッサージ本体部に伝えることが可能となる。そのため、ハンドル部を操作する操作者が意図しない動きをマッサージ本体部に与えることができる。それ故、例えば、操作者が刺激したい部位に操作者が意図しない刺激やマッサージ本体部の動きを生じさせることが可能となる。

【0012】

本発明の実施態様では、

保持部は、保持したマッサージ本体部の開口部の手前側に向けて突き出る、複数の突起部を備え、

開口部の奥に雄の生殖器が挿入されると、雄の生殖器の周辺に突起部の少なくとも一部が接触してもよい。

【0013】

これによれば、マッサージする際に複数の突起部の少なくとも一部が生殖器の周辺に接触するため、生殖器以外の部位である生殖器の周辺をマッサージできる。

【0014】

本発明の実施態様では、

第1ハンドル部から延びる第1延出部と、第2ハンドル部から延びる第2延出部とを備え、

第1延出部は、マッサージ本体部の使用時に第1延出部の少なくとも一部が生物に触れ

第2延出部は、マッサージ本体部の使用時に第2延出部の少なくとも一部が生物に触れてもよい。

【0015】

これによれば、マッサージ本体部及び突起部に以外に延出部が生物に触れるため、生物に対して多様な刺激を与えることができる。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本発明のマッサージ器具の一例を示す模式斜視図。

【図2】図1のマッサージ器具の模式底面図。

【図3】図1のマッサージ器具の蓋部周辺の部分拡大図。

【図4】図1のマッサージ器具を別の角度から見た模式斜視図（便宜的に1つのバネを透過させて示した図）。

【図5】図1のマッサージ器具から1つの延出部を取り外した状態を示す模式斜視図。

【図6】図5の取り外された延出部を示す模式拡大斜視図。

【図7】図1のマッサージ器具の使用状態を示す模式側面図。

【図8】図7の部分拡大図。

10

20

30

40

50

【図 9】図 7 の使用者側から見たマッサージ器具の斜視図を便宜的に示した図。

【図 10】図 9 のマッサージ器具を反時計方向に捻じった状態を示す斜視図。

【図 11】図 9 のマッサージ器具のハンドル部を内側に倒した状態を示す斜視図。

【図 12】本発明の例 2 のマッサージ器具を示す模式斜視図。

【発明を実施するための形態】

【0017】

図 1 は本発明の一例のマッサージ器具 1 を示す。マッサージ器具 1 は、男性の生殖器（男性器）をマッサージするために使用されるアダルトグッズ（性具）である。マッサージ器具 1 は、既存のオナニーホール（図示省略）を保持する保持部 2 を備える。本明細書におけるオナニーホール（図示省略）とは、亀頭及び陰茎を挿入できる開口部を有し、開口部に亀頭及び陰茎を挿入したり、開口部に挿入した亀頭及び陰茎をピストン運動したり、開口部に挿入した亀頭及び陰茎を相対的にピストン運動させたりすることで、男性器を女性器に挿入しているような快感をできる限り再現できるように男性器をマッサージする性具を意味する。なお、オナニーホール（図示省略）としては、例えば、亀頭及び陰茎を挿入するための開口部を有した略筒状部材として形成されるものがある。

【0018】

オナニーホール（図示省略）を保持する保持部 2 は、内部にオナニーホール（図示省略）を保持可能な筒状部材 3 を備える。筒状部材 3 には 2 つのアーム 4 が接続される。アーム 4 にはバネ 5 の一端が接続される。バネ 5 を操作部 6 が覆い、操作部 6 はオナニーホール（図示省略）を操作する。操作部 6 には、延出部 7 が取り付けられる。接続部材 8 は、図 2 に示すように 2 つのアーム 4 を繋ぐように延びる。

【0019】

筒状部材 3 は、図 1 に示す筒状の本体 3 a と、本体 3 a の一端に取り付けられる蓋部 3 b を備える。本体 3 a の内部には、オナニーホール（図示省略）を保持する保持部材（図示省略）が取り付けられる。蓋部 3 b は、図 2 に示すように中央に形成される環状の開口部 3 b 1 と、開口部 3 b 1 の外周部に位置する複数の突起部 P を有する。本体 3 a の内部に取り付けられる保持部材（図示省略）は、蓋部 3 b の開口部 3 b 1 に対向してオナニーホール（図示省略）の開口部が位置する又は開口部 3 b 1 の内側にオナニーホール（図示省略）が挿入された状態にオナニーホール（図示省略）を保持できれば、どのような機構、構造、形状でもよい。

【0020】

図 3 に示すように突起部 P は、第 1 突起部 P 1 と第 1 突起部 P 1 より長い第 2 突起部 P 2 を有する。第 1 突起部 P 1 は、蓋部 3 b に取り付けられる根元部と、根元部から延びた先に位置する先端部を有して、弾性変形可能な棒状に形成される。第 1 突起部 P 1 は、根元部から先端部に向かうに連れて径が縮小する。先端部の形状としては、尖った形状、平坦形状、丸められた形状など、種々の形状を採用することができる。第 1 突起部 P 1 は、蓋部 3 b の開口部 3 b 1（図 2）の外周部に取り付けられる。第 1 突起部 P 1 は、図 3 に示すように蓋部 3 b の同一領域 R に複数（ここでは 3 つ）の第 1 突起部 P 1 がまとめて取り付けられ、同一領域 R に取り付けられた複数の第 1 突起部 P 1 が蓋部の上方に延びるように位置する。同一領域 R に取り付けられる複数の第 1 突起部 P 1 は、図 2 に示すように環状の開口部 3 b 1 の中心 O を同心とする同心円状に多重の円を描くように開口部 3 b の外周部に複数配置される。図 3 に示すように第 2 突起部 P 2 は、弾性変形可能で先端部が丸められた棒状に形成される。第 2 突起部 P 2 は、略直線状に間隔を空けて複数（ここでは 6 つ）、蓋部 3 b に取り付けられる。各第 2 突起部 P 2 には、側方に膨出したリング状の膨出部 E（図面の便宜上、図 3 以外では図示省略）を複数有する。膨出部 E は、第 2 突起部 P 2 の上下方向に沿って間隔を空けて複数配置される。そのため、第 2 突起部 P 2 の側面には上下方向に沿ってリング状の凹凸が形成される。図面の便宜上、第 1 及び第 2 突起部 P 1、P 2 は、直立して描かれるが、第 1 及び第 2 突起部 P 1、P 2 は、必ずしも直立している必要は無く、自重により垂れ下がってもよい。

【0021】

10

20

30

40

50

図 2 に戻って、筒状部材 3 に接続するアーム 4 は、平板状に形成される。アーム 4 は、筒状部材 3 の側面から側方に延びるように複数（ここでは 2 つ）取り付けられる。開口部 3 b 1 の中心 O を中心とする開口部 3 b 1 の法線方向に沿うように 2 つのアーム 4 が位置し、2 つの法線 N が交わることで形成される角 θ が鈍角になるように 2 つのアーム 4 が筒状部材 3 に取り付けられる。図 2 において、筒状部材 3 の中心 O は筒状部材 3 の重心位置に相当する。左右のアーム 4 の先端（筒状部材 3 に接続する一端と反対側の他端）と筒状部材 3 の重心位置が同一線上からずれるように、アーム 4 が筒状部材 3 に取り付けられる。

【 0 0 2 2 】

図 4 に示すように筒状部材 3 から延びるアーム 4 の先端側にはバネ 5 が取り付けられる。図 4 では、バネ 5 の位置関係を明示するために、一方（図示左側）のアーム 4 に取り付けられるバネ 5 を透過させて図示してある。図 4 に示すようにバネ 5 はらせん状に形成され、らせん状の一端部がアーム 4 の下側の表面に取り付けられる。バネ 5 は、アーム 4 の下側から下方に向かって延びるように位置する。

【 0 0 2 3 】

バネ 5 には、バネ 5 を覆うように操作部 6 が取り付けられる。操作部 6 は、オナニーホール（図示省略）を操作するハンドルとなるハンドル部 6 a と、ハンドル部 6 a に一端が接続する略 J 状の接続部材 6 b と、接続部材 6 b に取り付けられて操作部 6 に他の部材を取り付けるための被取付部 6 c を備える。

【 0 0 2 4 】

ハンドル部 6 a は、オナニーホール（図示省略）を操作するためにオナニーホール（図示省略）の操作者が手で握るための把持部である。ハンドル部 6 a は、例えば、操作者が握りやすいように手にフィットする形状に外面が形成された筒状部材として構成される。この筒状部材の一端側からバネ 5 が挿入され、筒状部材の内部にバネ 5 が取り付けられ、ハンドル部 6 a の動きにバネ 5 が連動する。なお、図 2 において、筒状部材 3 の中心 O（筒状部材 3 の重心位置）と、左右のハンドル部 6 a が同一線上からずれて配置される。

【 0 0 2 5 】

図 4 に戻って、ハンドル部 6 a の一端側にはアーム 4 が取り付けられる一方で、ハンドル部 6 a の他端側には接続部材 6 b が取り付けられる。接続部材 6 b は、ハンドル部 6 a の他端側（図示下側）から下方に延びた後にハンドル部 6 a と対向するように略 J 字状に形成される。

【 0 0 2 6 】

ハンドル部 6 a と対向する側に位置する接続部材 6 b には、被取付部 6 c が位置する。被取付部 6 c は、操作部 6 に他の部材を取り付けるための部材である。被取付部 6 c には、延出部 7 が取り付けられる。

【 0 0 2 7 】

図 5 に示すように延出部 7 は、被取付部 6 c に取り付けられる取付部 7 a と、取付部 7 a を基点として複数に分かれて（ここでは 3 つ股に分かれて）丸棒状に延びる本体部 7 b を備える。取付部 7 a は、被取付部 6 c に取り付けられる取付部材である。取付部 7 a と被取付部 6 c により延出部 7 は操作部 6 に着脱可能となる。本体部 7 b は、取付部 7 a を基点に丸棒状に延びる第 1 本体 7 b 1、第 2 本体 7 b 2 及び第 3 本体 7 b 3 を有する。図 6 に示す第 1 本体 7 b 1 は、上方に延びた後に斜め上方に延びて略「く」の字状に形成される。第 2 本体 7 b 2 は、上方に延びた後に側方に湾曲して略 L 字状に形成される。第 3 本体 7 b 3 は、側方に延びた後に上方に湾曲した後に側方に延びて略 Z 状に形成される。第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、基点となる取付部 7 a に取り付けられる。第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、取付部 7 a に取り付けられた状態で、取付部 7 a を基点に弾性変形可能である。第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、取付部 7 a 側から延びた先が丸められた先端部を有する。また、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、所定の外力以上の力を加えることで図 6 に示す形状以外にも任意の形状に変形させることが可能である。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 8 】

図 4 に戻って、2つのアーム 4 を繋ぐように接続部材 8 がアーム 4 に取り付けられる。接続部材 8 は、一端が一方のアーム 4 の上側の表面に取り付けられるとともに、他端が他方のアーム 4 の上側の表面に取り付けられる。接続部材 8 は、一端から他端に向けて筒状部材 3 から離れるように筒状部材 3 の側方に突出する凸部を有して略 V 字状に形成される。接続部材 8 は、所定の外力以上の力を加えることで図 4 に示す形状以外にも任意の形状に変形させることが可能である。

【 0 0 2 9 】

以上の構成を有するマッサージ器具 1 は、筒状部材 3 の内部の保持部材（図示省略）でオナニーホール（図示省略）を保持した状態で使用される。オナニーホール（図示省略）が筒状部材 3 に取り付けられた状態で、例えば、オナニーホール（図示省略）の開口部（図示省略）と筒状部材 3 の開口部 3 b 1（図 2）が連通し、又は、開口部 3 b 1 の直下にオナニーホール（図示省略）の開口部（図示省略）が位置する。

【 0 0 3 0 】

次にオナニーホール（図示省略）を取り付けたマッサージ器具 1 を使ってマッサージする方法を説明する。ここでは、裸の状態で椅子などに座った男性が自分の男性器をマッサージ器具 1 でマッサージする方法を説明する。事前準備として、必要に応じて、オナニーホール（図示省略）の開口部（図示省略）からオナニーホール（図示省略）にローションを入れるとともに、必要に応じて、複数の第 1 及び第 2 突起部 P 1、P 2 にローションを塗る。まず、図 1 に示すように第 1 及び第 2 突起部 P 1、P 2 が下を向いた状態で接続部材 8 側から両手でそれぞれのハンドル部 6 a を握ってマッサージ器具 1 を保持する。そして、むき出しとなっている男性器を筒状部材 3 の開口部 3 b 1（図 2）を入口としてオナニーホール（図示省略）の開口部（図示省略）の奥に挿入するようにマッサージ器具 1 を操作する。また、オナニーホール（図示省略）に男性器が挿入された状態で、図 7 及び図 8 に示すように第 1 本体 7 b 1 が太腿の内側に沿うように延びて接する。第 2 本体 7 b 2 が足の付け根の側方に沿うように上前腸骨点棘に向けて延び、上前腸骨点棘の周辺部に接する。また、第 3 本体 7 b 3 が側腹部にかけて延びて第 3 本体部 7 b 3 の先端部などが側腹部に接する。上記のように第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 が配置される。第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、取付部 7 a を基点に弾性変形し、元の状態に戻ろうと復元力が作用している。また、複数の第 1 突起部 P 1 の少なくとも一部が男性器の周辺に接触するとともに、第 2 突起部 P 2 が睾丸や股の付け根や付け根の周辺に接するように位置する。このようにしてマッサージ器具 1 が男性の身体に装着される。なお、マッサージ器具 1 が装着された状態で接続部材 8 は、腹部に触れずに腹部の上方に浮いて位置する。上記では、操作部 6 に延出部 7 が取り付けられた状態でマッサージ器具 1 を身体に装着する例を示したが、延出部 7 を取り外した状態で、オナニーホール（図示省略）に男性器を挿入した後に操作部 6 に左右の延出部 7 を取り付けても良い。マッサージ器具 1 を装着する際に延出部 7 が煩わしい場合には、後から延出部 7 を取り付けることで、マッサージ器具 1 の装着が容易となる。

【 0 0 3 1 】

マッサージ器具 1 を男性の身体に装着した状態で、両手で各ハンドル部 6 a を握って、オナニーホール（図示省略）の奥や手前側に向かって男性器が相対的にピストン運動するようにマッサージ器具 1 を動かし、男性器をマッサージする。マッサージ器具 1 を動かすと、オナニーホール（図示省略）で亀頭及び陰茎がマッサージされる。また、陰毛そのもの、陰茎の付け根の周辺である陰毛の生え際、及び陰茎の付け根の周りにある皮膚に対してマッサージ器具 1 の動きに応じて第 1 突起部 P 1 が接触するとともに、第 2 突起部 P 2 が睾丸の表面及び股の付け根及び周辺の表面を撫でるように移動する。更に、第 1 本体 7 b 1 が太腿の内側などを、第 2 本体 7 b 2 が上前腸骨棘やその周辺部などを、第 3 本体部 7 b 3 が側腹部などを撫でるように移動する。マッサージ器具 1 を動かす方法としては、男性器が相対的にピストン運動するようにマッサージ器具 1 を男性器に対して動かす以外にも、オナニーホール（図示省略）に挿入された男性器を軸とするようにハンドル部 6 a

で男性器が挿入されたマッサージ器具 1 をねじるように回転させる操作（図 9 図 10）ができる。ねじるように回転させる際にも、ハンドル部 6 a の動きに連動するバネ 5（図 4）により不規則な動きが生じる。その他にも、図 11 に示すように 2 つのハンドル部 6 a がハの字状になるように内側に倒すなど、ハンドル部 6 a を自由に動かすことができる。マッサージ器具 1 を操作するハンドル部 6 a が操作されると、ハンドル部 6 a の動きに連動するバネ 5（図 4）を通じて間接的にマッサージ器具 1 が動く。また、ハンドル部 6 a に繋がる被取付部 6 c に取り付けられる延出部 7 は、ハンドル部 6 a の動きに連動する。そのため、ハンドル部 6 a の操作やマッサージ器具 1 を使用する男性の姿勢に応じて、図 8 に示す第 1 本体 7 b 1 により太腿の内側や、膝の裏、膝の表、ふくらはぎ等も刺激できる。また、第 2 本体 7 b 2 により上前腸骨棘やその周辺部や、鼠径部、男性器周辺、側腹部、太腿の前面等も刺激できる。同様に第 3 本体 7 b 3 により側腹部や、脇近傍、胸近傍、背中近傍、上前腸骨棘の周辺部、鼠径部等も刺激できる。接続部材 8 については、ハンドル部 6 a の操作やマッサージ器具 1 を使用する男性の姿勢に応じて腹部を刺激できる。

【 0 0 3 2 】

マッサージ器具 1 により男性器をマッサージすることで男性が射精するなどしてマッサージが終了した場合には、オナニーホール（図示省略）に挿入された男性器をオナニーホール（図示省略）及びマッサージ器具 1 から抜き出すとともに、身体に接触していた第 1 突起部 P 1 や第 2 突起部 P 2、延出部 7 を身体から取り外す。そして、必要に応じてマッサージ器具 1 からオナニーホール（図示省略）を取り外す。マッサージ終了後には、取り外したオナニーホール（図示省略）やマッサージ器具 1 を洗浄することで、オナニーホール（図示省略）及びマッサージ器具 1 を再度、使用できる。

【 0 0 3 3 】

以上のように、マッサージ器具 1 を用いて男性器をマッサージする場合には、オナニーホール（図示省略）により亀頭及び陰茎をマッサージできる。また、マッサージ器具 1 を動かすと、図 8 に示すように第 1 突起部 P 1 が陰茎の付け根の周辺に位置する陰毛そのもの、陰毛の生え際及び陰茎の付け根の周りがある皮膚に触れる。また、第 2 突起部 P 2 が睾丸の表面及び股の付け根周辺の表面を撫でるように移動する。よって、通常の自慰行為では刺激されない部位に刺激を与えることができる。そして、第 2 突起部 P 2 に備わる複数の膨出部 E（図 3）により第 2 突起部 P 2 の表面には凹凸が形成されることで、くすぐったさなどの刺激を一層効果的に生み出すことができる。そして、第 1 突起部 P 1 及び第 2 突起部 P 2 は、弾性変形可能であるため、男性器及び男性器周辺の敏感な部位にソフトな刺激を与えることができる。図 3 に示すように複数の第 1 突起部 P 1 が同一領域 R にまとめて取り付けられることで、第 1 突起部 P 1 が密集しやすくなり、適度な刺激を生み出すことが可能となる。そして、同一領域 R に複数の第 1 突起部 P 1 を設けることで、第 1 突起部 P 1 の一本一本の角度が変わるため、多様な刺激を生みやすくなる。同様に複数の第 1 突起部 P 1 が開口部 3 b 1（図 2）の外周部に位置することで、男性器の周辺に適度な刺激を与えることが可能となる。また、図 3 に示すように第 2 突起部 P 2 が第 1 突起部 P 1 より長いことで、第 2 突起部 P 2 により第 1 突起部 P 1 とは異なる刺激を与えることができる。図 4 に示すように第 2 突起部 P 2 は、接続部材 8 が突出する方向と反対側に位置するため、マッサージ器具 1 の使用時に第 2 突起部 P 2 が睾丸や股の付け根周辺を刺激することができる。

【 0 0 3 4 】

マッサージ器具 1 の使用時にマッサージ器具 1 を動かすと、操作部 6 に取り付けられた延出部 7 も連動する。よって、ハンドル部 6 a の操作やマッサージ器具 1 を使用する男性の姿勢に応じて、図 8 に示すように延出部 7 の第 1 本体 7 b 1 が太腿の内側や、膝の裏、膝の表、ふくらはぎ等に触れることが可能である。また、第 2 本体 7 b 2 が上前腸骨棘やその周辺部や、鼠径部、男性器周辺、側腹部、太腿の前面等に触れることが可能である。同様に第 3 本体 7 b 3 が側腹部や、脇近傍、胸近傍、背中近傍、上前腸骨棘の周辺部、鼠径部等に触れることが可能である。更に接続部材 8 が腹部に触れることが可能である。よ

って、ハンドル部 6 a の操作や男性の姿勢に応じてマッサージ器具 1 の各部材が身体の各部位を撫でるように移動させることで刺激を生み出すことができる。そのため、通常の自慰行為では刺激されない部位に刺激を与えることができる。また、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、丸棒状であり、更に先端部が丸められているため、先端部及び第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 の表面が身体に引っ掛からずに、スムーズに身体の内側を撫でるように移動することが可能である。

【 0 0 3 5 】

上記のようにマッサージ器具 1 を用いてマッサージをすると、男性器のマッサージ中に亀頭及び陰茎の他に、睾丸、陰茎の周辺部、上前腸骨棘やその周辺部、側腹部や背中付近、太腿の内側など複数個所の部位を同時に刺激することが可能となる。また、マッサージ器具 1 を操作するハンドル部 6 a は、ハンドル部 6 a の動きに連動するバネ 5 を通じて間接的にマッサージ器具 1 を動かす。そのため、バネ 5 の復元力やマッサージ器具 1 の自重などにより筒状部材 3 やハンドル部 6 a がマッサージ器具 1 を操作する操作者（男性）の意図に反して動く場合もある。例えば、図 2 において、筒状部材 3 の中心 O（筒状部材 3 の重心位置）と、左右のハンドル部 6 a が同一線上からずれて配置される。そのため、ハンドル部 6 a を操作することで得られるであろうと期待した刺激と、ハンドル部 6 a の操作により実際に引き起こされる刺激との間にズレが生じ易くなる。それ故、操作者の意図に反した動きを筒状部材 3 がすることで、オナニーホール（図示省略）を通じて意図しない刺激を亀頭及び陰茎に与えることが可能になるとともに、第 1 突起部 P 1 や第 2 突起部 P 2 により意図しない刺激を睾丸、陰茎の周辺部などに与えることができる。同様に操作者の意図に反した動きをハンドル部 6 a がすることで、ハンドル部 6 a に連なる延出部 7 により意図しない刺激を上前腸骨棘やその周辺部、側腹部や背中付近、太腿の内側、陰茎の周辺部などに与えることができる。したがって、マッサージ器具 1 を用いてマッサージすることで他人にくすぐられるような刺激を得ることができる。また、マッサージ器具 1 を操作する操作者の意図に反して筒状部材 3 及びハンドル部 6 a が動くことがあるため、マッサージ器具 1 を使用することで得られる刺激が不規則となり、マッサージ器具 1 による刺激に慣れにくくなる。仮に、刺激に慣れてきたとしても、ハンドル部 6 a を自在に動かせるため、複数のパターンで刺激を生み出すことが可能である。そのため、マッサージ器具 1 でのマッサージを長期的に楽しむことが可能となる。なお、マッサージ器具 1 の使用中には、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、それぞれ取付部 7 a を基点に弾性変形することで、元の状態に戻ろうと復元力が作用する。そのため、マッサージ器具 1 が動くことで、適宜、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 に蓄えられた復元力が解放され、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は操作者が意図しない動きをする。それ故、より一層、他人にくすぐられているような刺激を与えることが可能となる。なお、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 については、マッサージ器具 1 の使用時に男性器側に向かって復元力が作用するように形状を調整することで、マッサージ器具 1 の使用中に刺激に対して敏感な男性器に向けて第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 が移動し、くすぐったさ、性的快感が結びつくことで、より刺激が魅力的となる。また、図 5 に示すように操作部 6 の被取付部 6 c に対して延出部 7 が着脱可能であるため、形状が異なる複数の延出部 7 を用意し、マッサージ器具 1 の使用者の好みに応じて好きな延出部 7 を被取付部 6 c に取り付けるようにしてもよい。

【 0 0 3 6 】

上記では、本発明のマッサージ器具の一例として、筒状部材 3 の保持部材（図示省略）にオナニーホール（図示省略）を取り付けたマッサージ器具 1 を示した。マッサージ器具としては、オナニーホール（図示省略）と筒状部材 3 を一体に形成したものを採用してもよい。

【 0 0 3 7 】

上記では、操作部 6 に延出部 7 を取り付ける例を説明したが、延出部 7 を筒状部材 3 に取り付けても良い。筒状部材 3 に延出部 7 を取り付けると、ハンドル部 6 a の動きに連動するバネ 5（図 4）を通じて間接的に延出部 7 が動く。操作部 6 に延出部 7 を取り付けた

場合よりも、延出部 7 の可動域が狭くなるため、刺激を生み出すパターン自体は減少するものの、太腿や腹部等の部位は刺激することができるため、操作部 6 に延出部 7 を取り付けた場合と、ほぼ同様の効果が得られる。

【 0 0 3 8 】

上記では、男性の生殖器をマッサージするために使用されるマッサージ器具 1 を説明したが、図 1 2 に示すように女性の生殖器（女性器）をマッサージするために使用されるマッサージ器具 1 0 1 としてもよい。以下の説明では、上記と同じ構成については、同じ符号を付して説明を省略する。マッサージ器具 1 0 1 は、既存のディルド（図示省略）を保持する保持部 2 を備える。本明細書におけるディルド（図示省略）とは、女性器に挿入する突出部を有し、突出部を膣口から膣内に挿入したり、膣に挿入した突出部をピストン運動させたり等することで、女性器に男性器を挿入しているような快感をできる限り再現できるように女性器をマッサージする性具を意味する。なお、ディルド（図示省略）としては、例えば、男性器をかたどって棒状部材（突出部）として形成されるものがある。

【 0 0 3 9 】

ディルドを保持する保持部 2 は、内部にディルド（図示省略）を保持可能な筒状部材 3 0 と、2 つのアーム 4 と、パネ 5 と、操作部 6 と、延出部 7 と、接続部材 8 とを備える。筒状部材 3 0 は、筒状の本体 3 0 a と、蓋部 3 b とを備える。本体 3 0 a の内部には、ディルド（図示省略）を保持するための保持部材（図示省略）が取り付けられる。本体 3 0 a の内部に取り付けられる保持部材としては、蓋部 3 b の開口部 3 b 1 から筒状部材 3 0 の外側にディルド（図示省略）の先端側が突出するようにディルド（図示省略）を筒状部材 3 0 に保持できれば、どのようなもの機構、構造、形状であってもよい。

【 0 0 4 0 】

以上の構成を有するマッサージ器具 1 0 1 は、筒状部材 3 0 の内部の保持部材（図示省略）でディルド（図示省略）を保持させた状態で使用される。ディルド（図示省略）が筒状部材 3 0 に取り付けられた状態で、例えば、ディルド（図示省略）の先端側が筒状部材 3 0 の外側に突出するとともに、ディルドの大部分が筒状部材 3 0 の外側に位置する。

【 0 0 4 1 】

次にディルド（図示省略）を取り付けたマッサージ器具 1 0 1 を使ってマッサージする方法を説明する。ここでは、裸の状態でも椅子などに座った女性が自分の女性器をマッサージ器具 1 0 1 でマッサージする方法を説明する。事前準備として、必要に応じて、ディルド（図示省略）にローションを塗るとともに、必要に応じて、複数の第 1 及び第 2 突起部 P 1、P 2 にローションを塗る。そして、ハンドル部 6 a を持って、むき出しとなっている女性器に筒状部材 3 0 から突出したディルド（図示省略）を膣の奥に挿入するようにマッサージ器具 1 0 1 を操作する。また、ディルド（図示省略）が女性器に挿入された状態で、延出部 7 の第 1 本体 7 b 1 が太腿の内側に沿うように延びて接する。第 2 本体 7 b 2 足の付け根の側方に沿うように上前腸骨点棘に向けて延び、上前腸骨点棘の周辺部に接する。また、第 3 本体 7 b 3 側腹部にかけて延びて第 3 本体部 7 b 3 の先端部などが側腹部に接する。上記のように第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 が配置された状態で、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、それぞれ、取付部 7 a を基点に弾性し、元の状態に戻ろうと復元力が作用している。また、筒状部材 3 0 の開口部 3 b 1 の周辺部から突き出る複数の第 1 突起部 P 1 の少なくとも一部が女性器の周辺に接触するとともに、第 2 突起部 P 2 が足の付け根に接するように位置する。このようにしてマッサージ器具 1 0 1 が女性の身体に装着される。なお、マッサージ器具 1 0 1 が装着された状態で接続部材 8 は、腹部に触れずに腹部の上方に浮いて位置する。上記では、操作部 6 に延出部 7 が取り付けられた状態でマッサージ器具 1 0 1 を身体に装着する例を示したが、延出部 7 を取り外した状態で、ディルド（図示省略）を女性器に挿入した後に操作部 6 に左右の延出部 7 を取り付けても良い。

【 0 0 4 2 】

マッサージ器具 1 0 1 を女性の身体に装着した状態で、両手で各ハンドル部 6 a を握って、ディルド（図示省略）を膣の奥や手前側にピストン運動させるようにマッサージ器具

101を動かし、女性器をマッサージする。マッサージ器具101を動かすことにより、ディルド(図示省略)で膣内がマッサージされる。また、膣口の周辺に位置する陰毛そのもの、陰毛の生え際及び膣口の周りに対してマッサージ器具101の動きに応じて第1突起部P1が接触するとともに、第2突起部P2が股の付け根周辺の表面を撫でるように移動する。更に、延出部7の第1本体7b1が太腿の内側などを、第2本体7b2が上前腸骨棘やその周辺部などを、第3本体部7b3が側腹部などを撫でるように移動する。なお、マッサージ器具101を動かす方法としては、ディルド(図示省略)がピストン運動するようにマッサージ器具101を女性器に対して動かす以外にも、膣内に挿入されたディルド(図示省略)を軸とするようにハンドル部6aで女性器に挿入されたマッサージ器具101をねじるように回転させる等、ハンドル部6aを自由に操作できる。なお、マッサージ器具101を操作するハンドル部6aが操作されると、ハンドル部6aの動きに連動するバネ5を通じて間接的にマッサージ器具101が動く。また、ハンドル部6aに繋がる被取付部6cに取り付けられる延出部7は、ハンドル部6aの動きに連動する。そのため、ハンドル部6aの操作やマッサージ器具101を使用する女性の姿勢に応じて、第1本体7b1により太腿の内側や、膝の裏、膝の表、ふくらはぎ等も刺激することが可能である。また、第2本体7b2により上前腸骨棘やその周辺部や、鼠径部、女性器周辺、側腹部、太腿の前面等も刺激することが可能である。同様に第3本体7b3により側腹部や、脇近傍、胸近傍、背中近傍、上前腸骨棘の周辺部、鼠径部等も刺激することが可能である。接続部材8については、ハンドル部6aの操作やマッサージ器具101を使用する女性の姿勢に応じて、腹部を刺激することが可能である。

【0043】

マッサージ器具101による女性器のマッサージが終了した場合には、膣に挿入されたディルド(図示省略)を抜き出すとともに、身体に接触していた第1突起部P1、第2突起部P2、延出部7を身体から取り外す。そして、必要に応じてマッサージ器具101からディルド(図示省略)を取り外す。マッサージ終了後には、取り外したディルド(図示省略)やマッサージ器具101を洗浄することで、ディルド(図示省略)及びマッサージ器具101を再度、使用できる。

【0044】

以上のように、マッサージ器具101を用いて女性器をマッサージする場合には、ディルド(図示省略)により膣内をマッサージできる。また、マッサージ器具101を動かすと、第1突起部P1が膣口の周辺に位置する陰毛そのもの、陰毛の生え際及び膣口の周りに触れる。また、第2突起部P2が股の付け根周辺の表面を撫でるように移動したりするため、通常の自慰行為では刺激されない部位に刺激を与えることができる。第1突起部P1、第2突起部P2は、弾性変形可能であるため、女性器及び女性器周辺の敏感な部位にソフトな刺激を与えることができる。

【0045】

マッサージ器具101の使用時にマッサージ器具101を動かすと、操作部6に取り付けられた延出部7も連動する。よって、ハンドル部6aの操作やマッサージ器具101を使用する女性の姿勢に応じて、延出部7の第1本体7b1が太腿の内側や、膝の裏、膝の表、ふくらはぎ等に触れることが可能である。また、第2本体7b2が上前腸骨棘やその周辺部や、鼠径部、女性器周辺、側腹部、太腿の前面等に触れることが可能である。同様に第3本体7b3が側腹部や、脇近傍、胸近傍、背中近傍、上前腸骨棘の周辺部、鼠径部等に触れることが可能である。更に接続部材8が腹部に触れることが可能である。よって、ハンドル部6aの操作や女性の姿勢に応じてマッサージ器具101の各部材が身体の各部位を撫でるように刺激することが可能である。そのため、通常の自慰行為では刺激されない部位に刺激を与えることができる。

【0046】

上記のようにマッサージ器具101を用いてマッサージをすると、女性器のマッサージ中に膣の他に、膣口の周辺部、上前腸骨棘やその周辺部、側腹部や背中付近、太腿の内側など複数個所の部位を同時に刺激することが可能となる。また、マッサージ器具101を

操作するハンドル部 6 a は、ハンドル部 6 a の動きに連動するバネ 5 を通じて間接的にマッサージ器具 1 0 1 を動かす。そのため、ディルド（図示省略）により意図しない刺激を膣に与えることができるとともに、第 1 突起部 P 1、第 2 突起部 P 2 により意図しない刺激を膣口の周辺部、股の付け根に与えることができる。同様に延出部 7 により意図しない刺激を上前腸骨棘やその周辺部、側腹部や背中付近、太腿の内側、膣口の周辺部などに与えることができる。

【 0 0 4 7 】

上記では、本発明のマッサージ器具の一例として、筒状部材 3 0 の保持部材（図示省略）にディルド（図示省略）を取り付けたマッサージ器具 1 0 1 を示した。マッサージ器具としては、ディルド（図示省略）と筒状部材 3 0 を一体に形成したものを採用してもよい。

【 0 0 4 8 】

上記では、人が使用するマッサージ器具 1、1 0 1 の例を説明した。マッサージ器具としては、人を対象にするのに限らず、人を同様な生殖器を有する哺乳類など他の生物に対して使用することができる。

【 0 0 4 9 】

上記では、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 により性器の周辺、股、太腿などを刺激する例を示したが、使用者の好みに応じて適宜好きな部位を刺激するようにしても良い。また、第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 は、マッサージ器具を使う使用者（男性、女性、又は個人の身体など）に合わせて適宜、形状を変形させることができる。

【 0 0 5 0 】

上記では、本発明のマッサージ器具の一例として、マッサージ器具の使用者にくすぐったいような感覚を与えることができる例を示した。このくすぐったいという感覚は、本来、他者からくすぐられることでしか得られないものである。しかし、本発明の一例のマッサージ器具を使用すれば、他者との性行為に近い感覚を得ることができる。そのため、男性であれば、膣内射精障害の治療、女性であればセックス恐怖症の治療などを目的としたマッサージ器具として用いることができる。

【 0 0 5 1 】

ここで、本実施形態と特許請求の範囲に記載の文言との対応関係を説明する。本実施形態のマッサージ器具 1、1 0 1 がマッサージ器具に、保持部 2 が保持部に相当する。また、請求項 1 のマッサージ本体部が筒状部材 3 とオナニーホールに相当する。請求項 3 のマッサージ本体部がオナニーホールに相当する。また、オナニーホールの開口部が開口部に相当する。同様に第 1 突起部 P 1、第 2 突起部 P 2 が突起部、操作部 6 が操作部、ハンドル部 6 a がハンドル部、バネ 5 が弾性部材、アーム 4 が接続部、延出部 7 が延出部に相当する。

【 0 0 5 2 】

以上、本発明の実施の態様を説明したが、本発明はその具体的な記載に限定されることなく、例示した構成等を技術的に矛盾のない範囲で適宜組み合わせることも可能であるし、またある要素、処理を周知の形態に置き換えて実施することもできる。

【 0 0 5 3 】

上記では、マッサージ器具 1、1 0 1 を座って使用する例を例示したが、仰向けの状態など種々の体勢でマッサージ器具 1、1 0 1 を使用できる。なお、使用する体勢に応じて第 1 ~ 第 3 本体 7 b 1、7 b 2、7 b 3 を変形させてもよい。

【 0 0 5 4 】

上記では、接続部材 8 がアーム 4 に取り付けられる例を示したが、接続部材 8 は筒状部材 3 に取り付けてもよい。上記では、接続部材 8 がアーム 4 に直接取り付けられる例を示したが、アーム 4 や筒状部材 3 に被取付部を設けるとともに、接続部材 8 に取付部を設けることで、接続部材 8 をアーム 4 又は筒状部材 3 に着脱可能にしてもよい。

【 0 0 5 5 】

上記では、両手で 2 つのハンドル部 6 a を操作する例を示したが、片手で操作ができる

よう、2つのハンドル部6 aを一つにまとめるような装置を取り付けてもよい。また、ハンドル部6 aとしては、2つに限らず、1つでも2つ以上でもよい。

【符号の説明】

【0056】

1	マッサージ器具	2	保持部
3	筒状部材	3 a	本体
3 b	蓋部	4	アーム
5	バネ	6	操作部
6 a	ハンドル部	6 b	接続部材
6 c	被取付部	7	延出部
7 a	取付部	7 b	本体
8	接続部材	P 1	第1突起部
P 2	第2突起部		

10

20

30

40

【要約】

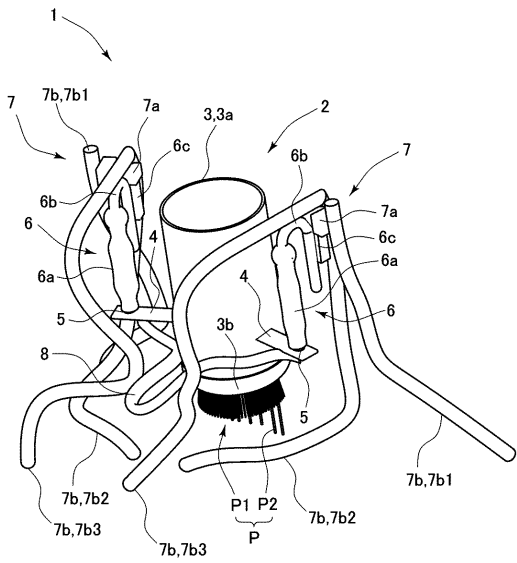
【課題】操作者が意図しない動きをすることが可能なマッサージ器具を提供する。

【解決手段】マッサージ器具1は男性器をマッサージする。男性器を挿入する開口部を有するオナニーホールと、オナニーホールを操作するハンドル部6 aと、ハンドル部6 aに接続してハンドル部6 aの動きに連動するバネ5と、バネ5とオナニーホールを接続するアーム4と、を備える。ハンドル部6 aが操作されると、ハンドル部6 aの操作がバネ5を通じて間接的にオナニーホールを動かす。

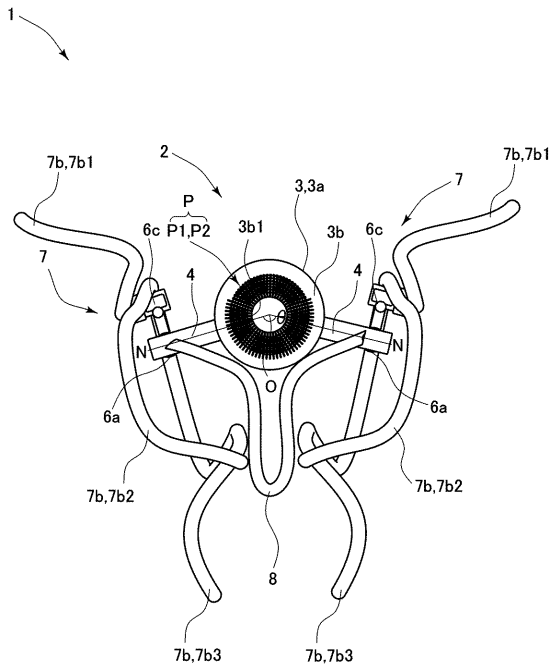
【選択図】図1

50

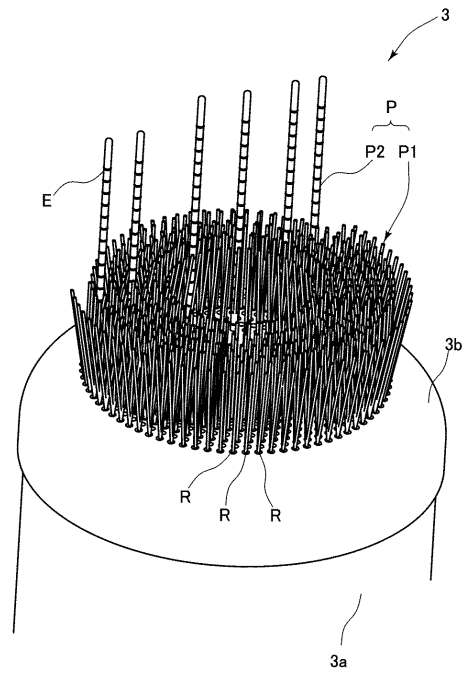
【 図 1 】



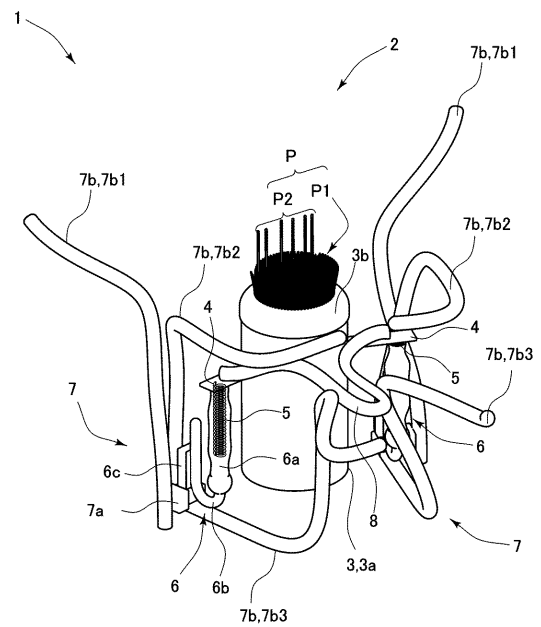
【 図 2 】



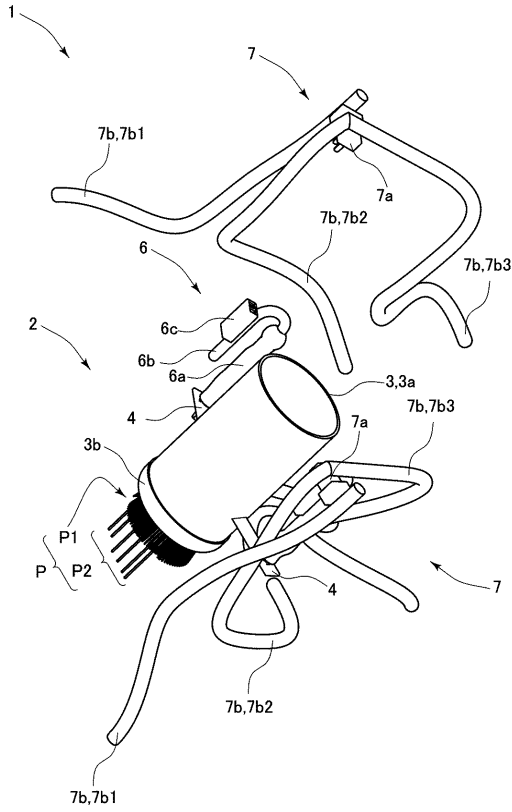
【 図 3 】



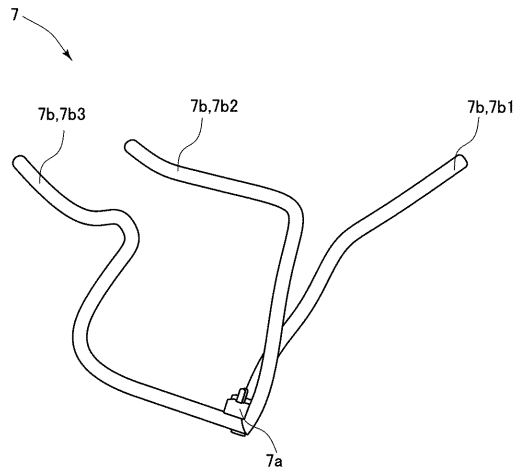
【 図 4 】



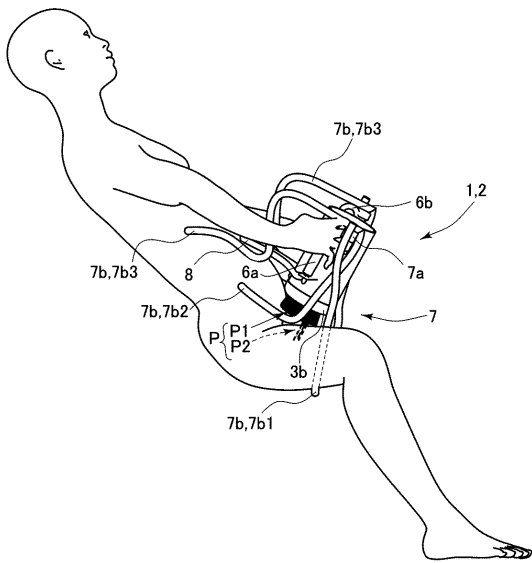
【 図 5 】



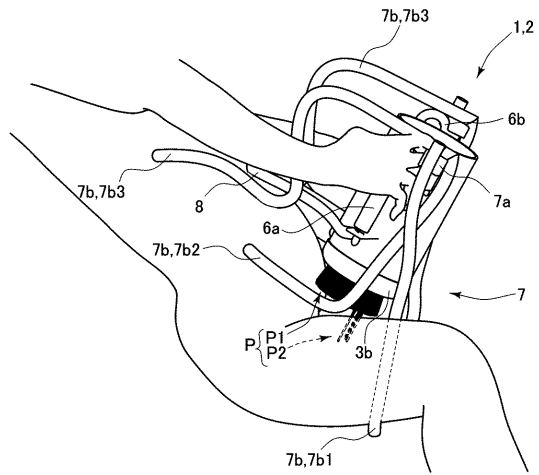
【 図 6 】



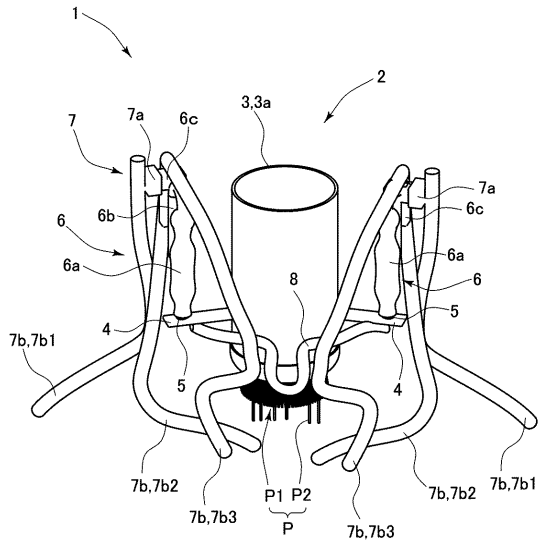
【 図 7 】



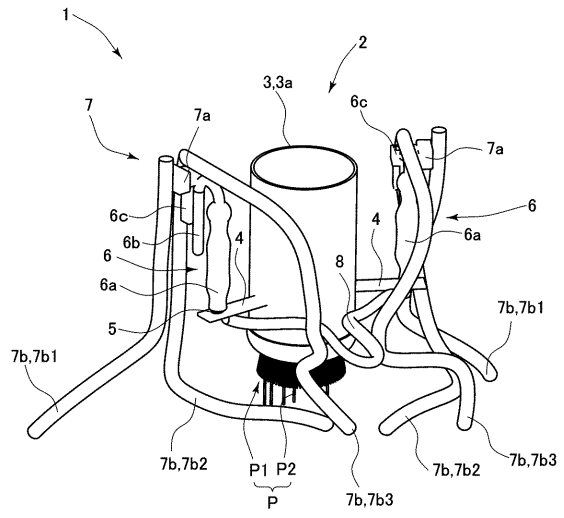
【 図 8 】



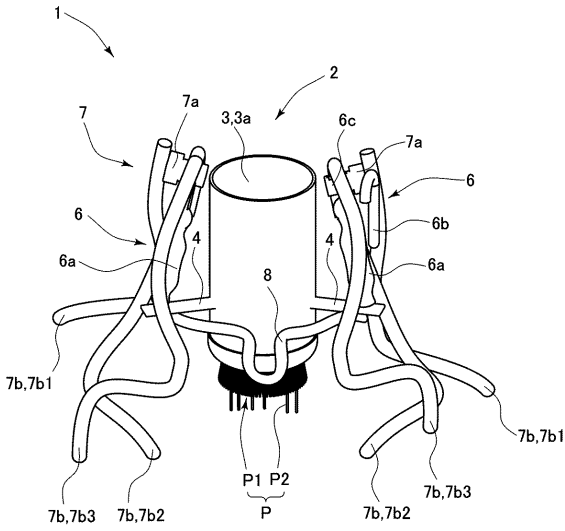
【 図 9 】



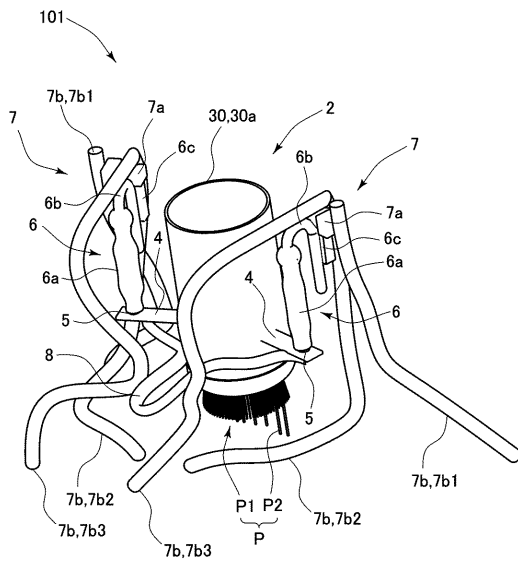
【 図 1 0 】



【 図 1 1 】



【 図 1 2 】



フロントページの続き

(56)参考文献 米国特許出願公開第2005/0187431(US, A1)
米国特許第06899671(US, B1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A61H 19/00